

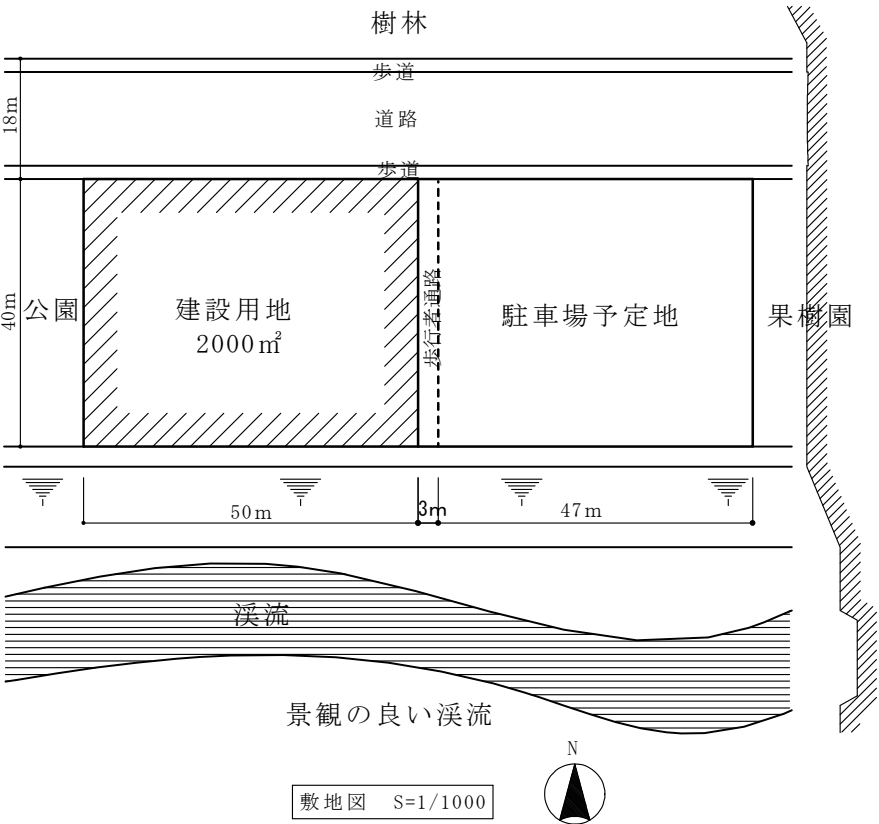
設計課題 温浴施設のある「道の駅」

I 設計条件

この課題は、ある地方都市において、温浴施設のある道の駅を計画するものである。なお、この施設は、景観の良い溪流沿いにあり、利用者が気軽に利用できる施設となることが求められている。

1 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図の通りである。この敷地のうち、施設の建設可能な建設用地は斜線で示した部分である。
- (2) 建設用地の東側には、24 時間利用できる駐車場予定地があり、建設用地との境界には歩行者通路が計画されている。
- (3) 建設用地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6m までできるものとする。
- (4) 敷地は、都市計画地域及び準都市計画地域以外の区域内にある。
- (5) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (6) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (7) 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2 建築物

- (1) 構造、階数等
構造種別は自由とし、地上 2 階建ての 1 棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計
床面積の合計は、2,200 m²以上、2,600 m²以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
温浴部門	浴室	・男性用、女性用として、それぞれ 10 人程度が入浴できるものとし、各浴室に脱衣室を設ける。	適宜
	休憩ラウンジ	・温浴受付カウンターを設ける。 ・自動販売機を設ける。	
物産部門	物産直売所	・エントランスホールに隣接する。 ・天井高 3,500mm以上とする。	約 330 ㎡
	レストラン	・エントランスホールに隣接する。 ・80 席程度のテーブル・イスを設ける。 ・レジカウンターを設ける。	適宜
	厨房	・レストランに隣接する。	
	道路観光情報コーナー	・エントランスホールに隣接する。 ・道路・気象・観光情報等の展示をする。	
地域連携部門	研修室(2 室)	・地域の研修・集会・サークル等に利用する。 ・40 人程度が利用できる室を 2 室(1 室当たり約 90 ㎡) 設ける。	計約 180 ㎡
	講師控室	・研修の講師が利用する。	適宜
共用・管理部門	共用便所	・駐車場利用者を考慮し、24 時間対応とする。	
	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・吹抜けを設ける。	
	事務室	・施設の管理・運営を行う。 ・従業員 5 名が常駐する。 ・湯沸しを設ける。	
	道の駅長室		
	会議室	・従業員の会議に利用する。	
	従業員室	・従業員の休憩に利用する。 ・湯沸しを設ける。	
	更衣室	・男女別に設ける。	
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機置場等を計画する。	
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3 その他の施設等(建設用地内)

- (1) 屋外カフェテラスは、レストランから出入りできるものとし、15 席以上のイス・テーブルを配置する。
 - (2) 駐車場は、地上に平面駐車とし、サービス用として 2 台分を設ける。また、他の利用者・従業員の駐車場については、敷地内の建設用地外の駐車場を利用するものとする。
 - (3) 駐輪場は、利用者用として 30 台分(1 台当たり 0.5m×2m 程度)を設ける。
 - (4) 敷地内の主要な通路に設けるスロープは、幅を 1.5m 以上、勾配を 1/15 以下とする。
 - (5) ごみ置場を設ける。
- (1)～(5)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4 計画に当たっての留意事項

- 計画に当たっては、特に次のことが求められている。
- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 施設への利用者メインアプローチは、東側の歩行者通路からとする。
 - ② 温浴部門、物産部門、地域連携部門、共用・管理部門の異なる機能を適切にゾーニングした計画とするとともに、動線に配慮した計画とする。
 - ③ 敷地の周辺環境に配慮する。
 - (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画する。
 - ② 構造種別、架構形式、スパン割を適切に計画する。
 - ③ 必要に応じて、耐力壁等を設け、耐震性に配慮する。
 - ④ 部材の断面寸法を適切に計画する。
 - (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - ② 自然採光を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。
 - ③ エレベーター(利用者用・管理用)を適切に設ける。

II 要求図面等

答案用紙 I 及び答案用紙 II の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼配置図 1/200	① 1 階平面図兼配置図及び 2 階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素 ホ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ヘ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する) ト. 断面図の切断位置 ② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. カフェテラス(床面積を記入する。) ハ. 駐車場(台数及び出入口を明示する) ニ. ごみ置場 ホ. 通路・植栽等 ③ 2 階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 1 階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離・歩行経路
(2) 2 階平面図 1/200	
(3) 断面図 1/200	① 切断位置は、建築物の全体の立体構成及び屋根形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2 階梁伏図 1/200	① 2 階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・断面寸法を追加する。

2 面積表(答案用紙 I に記入)

各階の床面積、その合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3 計画の要点等(答案用紙 II に記入)

- (1) 建築計画について、次の①～④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図書では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物の外部動線について、配慮したこと
 - ② 建築物の内部動線について、配慮したこと
 - ③ 建設用地の周辺環境について、配慮したこと
 - ④ 温浴部門の浴室の配置及び動線計画について、配慮したこと
- (2) 構造計画について、次の①～②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図書では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物の構造種別、架構形式及びスパン割とこれらを採用した理由
 - ② 耐震計画について、配慮したこと
- (3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図書では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物に採用した空調方式と採用した理由
 - ② 建築物に採用した消火設備について配慮したこと
 - ③ 設備スペース及び設備シャフトの配置計画について、配慮したこと
- (4) 建築物の環境負荷低減(熱負荷の抑制、省エネルギー等)について、配慮したことを具体的に記述する。